

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
社会福祉援助技術演習Ⅳ	3	後期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(かげやま ゆうこ) 影山 優子	授業支援システム:ユニブルー ブ(イツクラス)を活用します。			

(英文科目名 Seminar in Social Work Techniques Ⅳ)

授業の概要

演習形式で実施します。社会福祉現場実習の経験を踏まえ、ふりかえりながら言語化し、グループで学修を深めます。個人で学んだ経験を事例検討形式で報告し、援助者としての視点からディスカッションを行います。これらの学習プロセスにより現場で求められるチーム力を養います。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。

社会福祉援助技術演習の最終段階の学びになります。相談援助の知識と技術についての個人的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として修得することを目指します。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	相談援助の知識を活用して事例について説明できる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	◎	社会福祉現場実習の体験を踏まえ、ソーシャルワーカーに求められる相談援助の知識と技術を総合的に活用することができる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	社会福祉現場実習の体験を踏まえ、ソーシャルワーカーに求められる態度や姿勢を表現できる。
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。	○	ソーシャルワーカーの専門性を述べることができる。

授業の方法・講義手法の概要

演習

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	ガイダンス(授業方法と他科目との関連について、授業の進め方について)	事前学修:実習についてふりかえる(90分) 事後学修:ガイダンスで配布したプリントを読む(90分)
2	個人による実習のふりかえり①	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
3	実習経験の報告①	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
4	実習経験の報告②	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
5	実習事例を用いた検討①	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
6	実習事例を用いた検討②	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
7	実習事例を用いた検討③	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
8	実習事例を用いた検討④	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
9	実習事例を用いた検討⑤	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
10	実習事例を用いた検討⑥	事前学修:配布資料を読む(90分) 事後学修:レジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)
11	実習事例を通しての知識・技術の理解①	事前学修:実習で経験した事例をまとめる(90分) 事後学修:実習事例の検討から新たに気づいたことをまとめる(90分)
12	実習事例を通しての知識・技術の理解②	事前学修:実習で経験した事例をまとめる(90分) 事後学修:実習事例の検討から新たに気づいたことをまとめる(90分)
13	実習事例を通しての知識・技術の理解③	事前学修:実習で経験した事例をまとめる(90分) 事後学修:実習事例の検討から新たに気づいたことをまとめる(90分)
14	社会資源の活用・調整・開発の技術	事前学修:社会資源に関する配布資料を読む(90分) 事後学修:社会資源に関するレジユメを再読し講義内容のポイントをまとめる(90分)

		める (90 分)
15	まとめ	事前学修:これまで配布した資料を整理し、疑問点はないか確認しておく(90分) 事後学修:これまでのレジュメと資料を再読し、ポイントをまとめる(90分)

成績評価の方法・基準

演習やディスカッションへの参加態度(40%)、事例検討の報告(60%)により評価します。

指定教科書

適宜必要な資料を配布します。

参考文献等

必要に応じて授業内で紹介します。

履修上の留意点

社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ全ての履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「相談援助演習」に該当します。

グループディスカッションが中心となります。積極的な参加姿勢、発言を求めます。

本科目は社会福祉援助技術演習の最終段階です。社会福祉援助技術演習Ⅰ～Ⅲまでの内容を振り返り、整理しておいてください。

実務経験